

News Release

2015年10月28日

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

日立の蓄電池システム「CrystEna^{*1}」シリーズ 「リチウムイオン蓄電システム」を販売開始

電池パックの並列化技術により電池容量スケラブルな蓄電システムを実現

株式会社 日立情報通信エンジニアリング(代表取締役社長:小菅 稔、本社:神奈川県横浜市)は、このたび、日立グループの蓄電池システム「CrystEna」シリーズとして、「リチウムイオン蓄電システム」の販売を開始します。リチウムイオン電池を採用し、かつ電池パックの並列化技術により、小型・軽量で電池容量スケラブルな蓄電システムを実現しました。

東日本大震災以降、災害時などの非常時に必要なエネルギー確保のため、電力供給安定化のニーズが高まっています。学校や病院などの公共施設をはじめ、企業や一般住宅などの民間施設でも蓄電システムの設置が進んでおり、今後も蓄電システム市場は拡大傾向が見込まれています。

しかしながら、更なる市場拡大においては、コスト、スケラビリティ、設置の容易性、保守・メンテナンス性などの課題もあり、その解決が求められています。

当社は、日立グループが注力する社会イノベーション事業において、IoT/M2M^{*2}、蓄電、セキュリティなどに関連した製品からソリューション・サービスまで、幅広い事業展開を行っています。このたび、その取り組みのひとつとして、蓄電事業の中核をなす蓄電システムを新たに開発しました。

本製品は、市場の課題を解決する長時間バックアップ、小型・軽量化を実現した電池容量スケラブルな蓄電システムです。接続する機器の必要バックアップ時間に応じて、電池パック数の選択が可能のため、導入コストを抑えることができます。導入後は、バックアップ機器が増加した場合でも、電池パックの追加により必要バックアップ時間の確保ができるなど、スケラブルな運用が容易に行えます。システム本体を3台まで接続することで、2倍、3倍と更にバックアップ時間を延長することが可能です。

また、リチウムイオン電池の採用によるシステム本体の小型・軽量化に加え、筐体にIP54^{*3}対応を施し、屋外設置で課題となる防水、防塵の対策を不要とし、自由度のある設置を可能としました。建設現場や災害派遣時に一時的に必要とされる、可搬型の電源としても使用できます。

更に、プラグインタイプの電池パックを採用したことから、運用中に接続機器の動作を継続したまま電池パックの追加と交換を可能とし、保守・メンテナンスも容易です。

これにより、屋内から屋外、短時間から長時間のバックアップまで、幅広いお客さまのニーズに対応いたします。災害時の電力安定供給として、様々な用途でのご利用が可能です。また、UPS^{*4}機能によるミッションクリティカルなシーンでのご利用や、蓄電池導入を支援するグリーンニューディール基金制度^{*5}向けにもご利用いただけます。

今後、当社では、太陽光発電と連携し、長期間の停電時にも動作可能な蓄電システムの検討を進め、お客さまに更なる価値のある製品・サービスを提供してまいります。

*1:「CrystEna」は株式会社 日立製作所の登録商標です。

*2: Internet of things/Machine to Machine.

*3: IEC(国際電気標準会議)によって定められた防水・防塵に関する保護規格。

*4: Uninterruptible Power Supply.

*5: 環境省主導による再生可能エネルギー等導入推進基金事業。

■今回発表製品の主な仕様と価格

形名	主な仕様	価格(税別)	出荷開始時期	販売目標
PBU0003-5 (電池パック5台搭載)	定格出力電力: 1kVA 蓄電池容量: 3.1kWh バックアップ時間: 5時間 外形寸法: 550×305×1100mm 重量: 87.5kg	1,200,000円	2016年3月1日	年間500台
PBU0003-12 (電池パック12台搭載)	定格出力電力: 1kVA 蓄電池容量: 7.5kWh バックアップ時間: 13時間 外形寸法: 550×305×1100mm 重量: 126kg	1,750,000円		

* バックアップ時間は、500W 負荷接続時

* 本体、電池パック価格(設置費含まず)

■「CrystEna」シリーズについて

「CrystEna」とは日立グループ全体の蓄電池システム体系を表象するブランド名称で、長年培われた日立の技術とエネルギーを意味し、全世界のユーザーが安心して電気が使える社会の礎になるようにとの想いを込めています。

当社も「CrystEna」シリーズとしてリチウムイオン蓄電システムの販売を開始し、蓄電池システムの開発に注力する日立グループ各社と連携強化を深め、高付加価値な蓄電池システムを提供します。

■リチウムイオン蓄電システムに関するホームページ

<http://www.hitachi-ite.co.jp/products/ess/li-ess/index.html>

■お客様お問い合わせ先

株式会社 日立情報通信エンジニアリング 営業統括本部 第2本部 [担当:横田]

〒220-6122 神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3番3号 クイーンズタワーB25階

電話:050-3163-5728(直通) <http://www.hitachi-ite.co.jp/inquiry/>

■報道機関お問い合わせ先

株式会社 日立情報通信エンジニアリング 経営・事業企画本部 企画部 [担当:中村]
〒220-6122 神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3番3号 クイーンズタワーB 22階
電話:050-3163-5726 (直通) <http://www.hitachi-ite.co.jp/inquiry/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
